

阿里健康信息技术（アリババヘルス）（00241）

【セクター】 インターネット

【市場】 香港

【企業概要】

アリババ（09988）傘下のオンライン医療サービス会社。事業の柱は、「医薬品（一般用医薬品と処方薬）・ヘルスケア製品のオンライン販売」と「医薬品プラットフォームの運営」です。21.3期のそれぞれの売上高構成比は、85.2%と12.7%です。オンライン診療サービスも提供していますが、それを含む「その他」の売上高構成比は2.1%にとどまります。同社が運営している「Tモール医薬プラットフォーム」の年間アクティブユーザー数は2.8億人、「アリペイ医療健康チャンネル」は5.2億人です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万人民元、EPS、1株配当、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

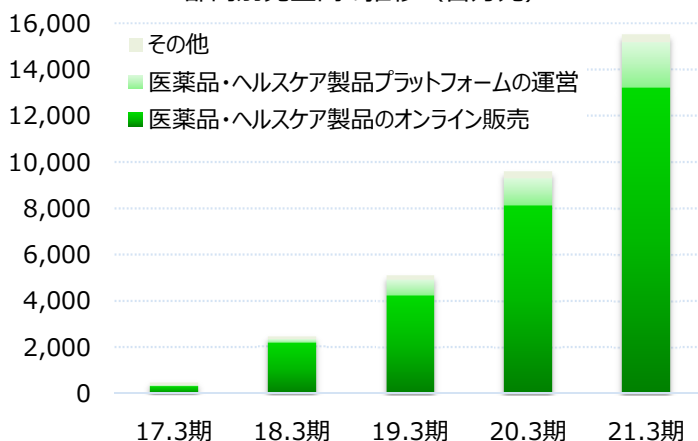
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.3期	9,596	12	0.00	0.00	0.4	-0.2	66.1
21.3期	15,518	240	0.02	0.00	1.1	3.6	80.5
22.3期（予）	22,355	196	0.01	0.00	1.1	2.2	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

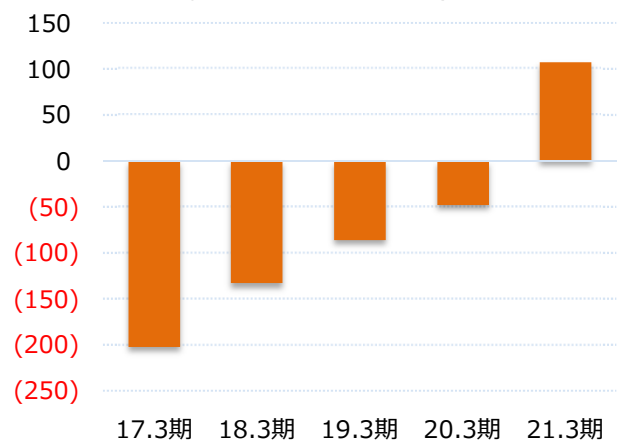
【主要指標】

部門別売上高の推移（百万円）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

営業損益の推移（百万円）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

医薬品・ヘルスケア製品のオンライン販売で、主要都市は30分以内、それ以外は翌日の配達を強化しています。翌日配達の比率は21.3期に前期の34.9%から50.1%に上昇しました。利便性を背景にアクティブユーザー数は増加し、売上高も拡大基調です。21.3期は前年比61.7%増収と、引き続き高い伸び率を維持しました。営業損益ベースで赤字が続きましたが、21.3期は黒字転換を果たしました。今後は中核のオンライン販売のほか、医療健康サービスにも力を入れていく予定です。

【見通し・注目点】

22.3期4-9月期は前年同期比31%増収と堅調でしたが、伸び率は鈍化しました。純損益ベースでは赤字に転落しました。市場シェア拡大に向けた販管費の大幅増加と、オンライン医療サービスアプリなどへの投資拡大が響きました。中国当局は10月にオンライン医療産業への規制強化を発表しました。今後、産業全体および同社の業績にも影響を及ぼすとみられます。

(SBI証券 投資情報部 李 燕)

(更新日 2021/11/25)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。